



「ご卒業おめでとうございます」

学校長 小木曾敏樹

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。小学校を卒業し、いよいよ4月からは中学生です。新しく始まる生活が君たちを待っています。

コロナ禍でいろいろなことをがまんしてきた三年間と、コロナ明けでいろいろなことをスタートさせたこの一年間と、本当にいろいろなことを経験した小学校生活でしたが、これからは、きっと落ち着いた日々が始まります。中学校生活を思いっきり頑張り、思いっきり楽しんでください。

「なりたい自分になるため」にあるのが、これからの三年間だと思います。将来の職業もそうですが、どんな大人になりたいのか、どんな生き方がしたいのか、そんなことを頭に描きながら、「自分さがし」をすることでしょう。時には悩んだり、もがいたりすることがあるかもしれませんが、大丈夫です。みんな同じだから。みんなそうやって大人になってきたのだから。大人になってしまえば、その時の苦しみさえ懐かしく楽しい思い出になる。だから、大丈夫。やりたいこと、やってみたいこと、やったらいいと思うことに、チャレンジするといい。大人になって歩く道が決まってしまってからではやりにくくなるチャレンジに、挑戦できるのがこれからの三年間です。

私は小学生の頃、特別目立つ存在ではなかった。中学校一年生の時もそう。そんな自分のことがイヤで、自分が嫌いで、心の中はいつもモヤモヤしていた。自分を変えたい、そう思って委員会や学級を中心となる役割になってみた。それが今の私のスタートラインになった。積極的になった。明るくなった。友達も増えた。人のために努力することが楽しくなった。人前で話すことが楽しくなった。自分に自信がもてるようになった。自分ことが好きになれた。人から信頼されるようになった。だから、先生になろうかなと思えるようになった。

中学校生活の三年間は、いろいろな意味で自分の人生を左右する三年間になります。皆さんには、是非とも、楽しく、有意義な三年間にしてほしいと願っています。そのためには、自分を成長させてくれる、素敵な仲間たちをいっぱい作ってください。小学校の時以上に、仲間と作り上げる喜びを味わってください。そして、たくさんの感動を味わってください。皆さんの今後の成長と活躍を楽しみにしています。



保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。これまで本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。コロナ禍により学校行事、PTA活動や授業参観など様々な制限があったわけですが、「最大限、学びは止めない」「できないのではなく、できる方法を考える」といった考えで、教育活動を進めてきたつもりです。そういった方針にご賛同いただき、ご声援いただけただけが、我々職員の大きな励みとなりました。支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。卒業式がコロナ禍以前に近い状態で行えたことを本当にうれしく思っています。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さんへ

今日という日は、記念すべき日で、心がたくさんいろんなことを感じる日です。だから、卒業式での私の話は、きっとすぐに頭から消えてしまうはずですが、けれども、伝えたいことはちゃんと伝えたい。だから、式辞の中の言葉をここに書いておきます。

みんなが、もっと素敵な大人になるために・・・

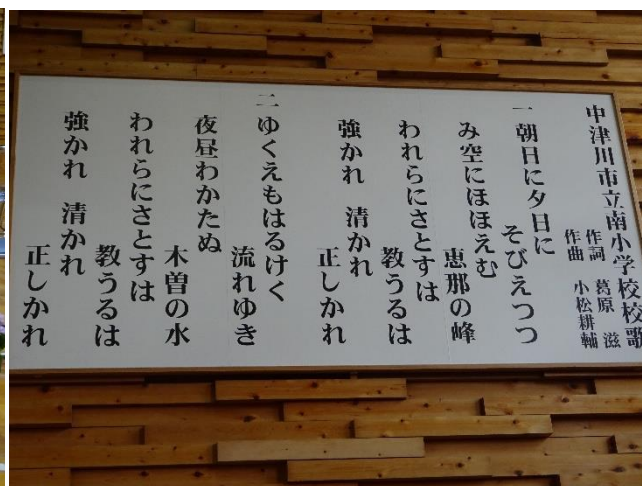
- 1 人の意見や情報に流されることなく、何が真実かを見極める力をつけなさい。
- 2 どんなことがあろうとも、自他の命と人権を尊重する強い意志をもちなさい。
- 3 素敵な仲間をいっぱい作り、心通わせる喜びを知りなさい。
- 4 「誰かのために」、の気持ちを忘れることなく、他者の幸せを自分の幸せと感じる人になりなさい。
- 5 そして、最後に、順位や優劣ではない、あなたらしさを大切にしなさい。



君たちは、今のままで、十分に素敵な人です。自分に自信をもってください。これからは、頑張った分だけプラス点。マイナスなんてありません。自分のペースで、少しずつプラス点を自分に入れてあげましょう。

南小学校での生活以上に、楽しく、充実した中学校生活になること祈っています。

ご卒業 おめでとうございます



4・5年生が卒業生の皆さんに感謝を込めて、一生懸命掃除し、イスも拭いて、準備しました。